

小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ・取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。

本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

電子データの取扱いについて

電子データの内容について

■本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。

■カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社(小橋工業株式会社)が著作権その他知的財産権を保有します。無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面にに基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基づく保証は提供いたしません。

お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

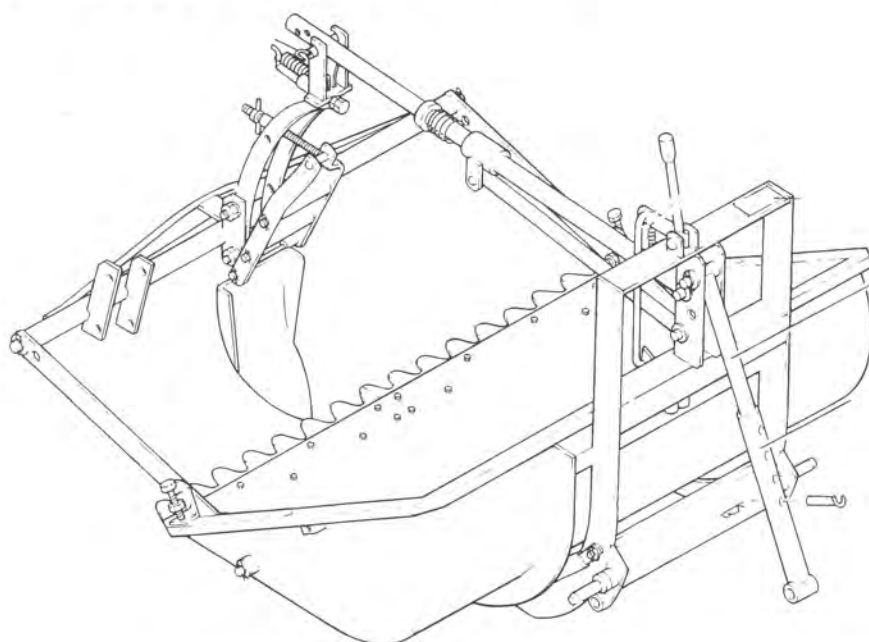
以上

小橋工業株式会社

コバシリヤーバケット

取扱説明書

KMB 120S (プラウ無し作業幅120cm)
KMB 150S (プラウ無し作業幅150cm)
KMB 120L (プラウ付き作業幅120cm)
KMB 150L (プラウ付き作業幅150cm)



1. 使用前に取扱説明書を必ずお読み下さい。
2. トラクタの前輪が浮き上がらないように前部ウエイトを取り付けて下さい。(積載量が多すぎますとトラクタの前輪が浮き上がり危険です。)
3. バケットには人を乗せないで下さい。

KOBASHI

はじめに

このたびは、コバシリヤーバケットをお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は、リヤーバケットの性能を十分に発揮させ、より安全で快適な農作業をしていただくためにも、ご使用前によくお読みいただき、正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。

又、リヤーバケットを他の人に貸出しされる場合には、この取扱説明書も併せて貸出していただき、正しい取扱いをしていただくようにご指導をお願いいたします。

なお、本製品については、不断の研究成果を新しい技術としてただちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますが、あらかじめご了承ください。

▲ 安全作業のポイント

◎安全な作業をしていただくためには、まず機械の使い方を十分理解し、正しい取扱いをすることが基本となります。

◎この取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示しています。

必ずお読みいただきて事故のない安全な作業をしてください。

▲ 危険…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

▲ 警告…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

▲ 注意…その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示します。

取扱上の注意…その警告文に従わなかった場合、機械の損傷を起こす恐れのある操作を示します。

リヤーバケットの使用目的・使用範囲

このリヤーバケットは水田圃場の高低整備に使用します。

排土、客土の為のすくい取り、運搬、整地が行なえます。また除雪作業も可能です。

使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

目 次

▲ 安全に作業するために	1
1 はじめに	1
2 作業の前に	1
3 トラクタへの着脱	1
4 防護カバー類の取付け	2
5 装着時の前後バランスの確認	2
6 トラックへの積み・降ろし	2
7 一般走行	3
8 圃場への出入り	3
9 作業をしているとき	3
10 作業中の点検	4
11 トラクタを止めるとき	4
12 その他	4
▲ 安全ラベルの取扱い	5
サービスと保証について	6
各部の名称	7
組立要領	8
トラクタへの装着	9
作業方法	10
1 掘取り作業	10
2 バック作業	11
主要諸元	11

！安全に作業するために

安全に作業していただくために次のことを守ってください。
もし怠ると…傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります。

1 はじめに

- 1-1 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてからご使用ください。
トラクタの取扱説明書もあわせてよくお読みください。
機械の操作を知らずに使用するとたいへん危険です。

- 1-2 取扱説明書は、いつでも読めるように、機械と一緒に大切に保管してください。

- 1-3 機械を他人に貸出しされる場合は、取扱説明書も併せて貸出いただき、正しい取扱いをしていただくように、指導してください。



- 1-4 適応トラクタ以外への装着の禁止
主要諸元表に適応トラクタ馬力を表示していますので熟読の上、適応馬力内のトラクタに装着してください。特にトラクタ馬力が小さい場合はトラクタとの重量バランスが悪くなり事故の原因となります。



- 1-5 服装には注意を払いましょう
作業中の服装は、ヘルメット、丈夫な手袋、すべらない靴、キチンとした作業服を着用してください。だぶついたズボンや上着など、回転部分に巻き込まれやすい服装は、たいへん危険です。ボタンもキチンととめましょう。



- 1-6 次のような状態では、運転しないでください。

- ① 飲酒運転
- ② いねむり運転
- ③ 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- ④ 若年者
- ⑤ 妊娠中の方

機械の操作に十分熟練し、必要な運転免許証を携帯し、心身ともに健康な状態で運転してください。



- 1-7 共同作業者がいる場合は、動作ごとに合図を徹底しましょう。

- 1-8 使用目的以外の作業や、機械の改造は事故の発生、又は、機械の故障の原因となりますので、決してしないでください。

2 作業の前に

- 2-1 機械の点検を

各部のボルト、ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。作業中にボルト、ナット、ピンなどが外れますと、作業機やトラクタの破損の原因及び事故の原因となります。



3 トラクタへの着脱

- 3-1 作業機の着脱及び調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行いましょう。特に夜間の作業機の着脱は、安全で適切な照明を用いる等、安全に留意して行ってください。

▲ 安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

- 3-2 トラクタを移動して作業機を装着する場合には、トラクタと作業機の間に人が入らないように注意してください。



- 3-3 トラクタと作業機の着脱に際しては、いつでも逃げられる安全な態勢で操作し、このときトラクタは必ずブレーキで止めておいてください。
- 3-4 二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図しあいましょう。
- 3-5 ジョイントのノックピンが、確実にPTO軸溝に、又作業機入力軸溝にはまったか確認してください。



- 3-6 取付各部のトメピンが全て確実に装着されているか確認してください。



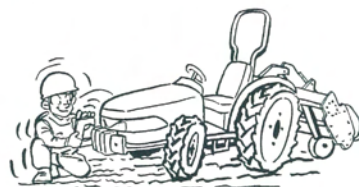
4 防護カバー類の取付け

- 4-1 ジョイントをはじめ、作業機のセフティカバー防護カバー類は必ず取付けてください。

5 装着時の前後バランスの確認

- 5-1 作業機とトラクタとのバランスの確認
作業機を装着すると機体の長さや幅が大きくなり、重量バランスが変わります。確認の上トラクタの前輪に20%以上のウエイトがかかるように、フロントウエイトを取付けてください。なお、作業機に泥が付着して、重たく

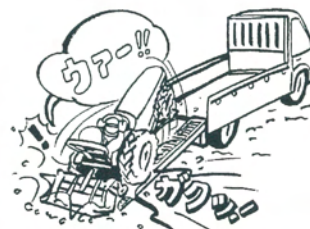
なる場合もありますので注意してください。
又、アタッチメント等を取付けて使用される場合もバランスの確認を行い、フロントウエイトを取付けてください。



- 5-2 作業機に他のアタッチメントを取付ける場合は、事前に必ずアタッチメントの取扱説明書を良く読んでください。

6 トラックへの積み・降ろし

- 6-1 積み・降ろしの場所は平坦で安全なところを選びましょう。
- 6-2 すべり止めをした丈夫なアユミ板を確実に固定してください。傾斜角度、平行度を確認してください。
- 6-3 トラックは移動しないようにしっかりと車のサイドブレーキをかけてください。
- 6-4 トラクタの左右のブレーキペダルを連結し、脱輪しないように注意してください。又途中でクラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。低速で積み・降ろしをしてください。
- 6-5 作業機を装着しての積み・降ろしはトラクタの重量バランスが変わります。泥の付着等もあり、十分注意して行ってください。



- 6-6 折りたためる作業機は折りたたみ、エクステンションレベラもたたみ、トラックの荷台よりはみ出さないように注意し、強度が十分あるロープで確実に固定してください。

▲ 安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

7 一般走行

- 7-1 トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。
(道路運送車両の保安基準)
作業機を装着して走行すると、他の車や電柱等に引っかけて事故の原因になります。



- 7-2 トラクタ・作業機には運転者以外の人を乗せないでください。



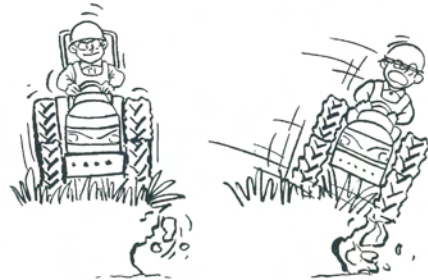
- 7-3 左右のブレーキペダルを連結して走行してください。



- 7-4 作業機の回転を止めて走行してください。
7-5 作業機の落下防止装置を必ず使用して走行してください。
7-6 必要以上の高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回をしないでください。
7-7 旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。



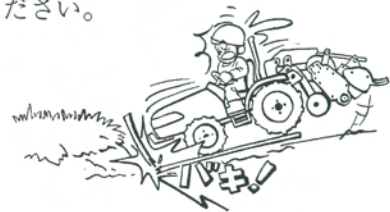
- 7-8 作業機は左右がトラクタの機体幅より広い場合、走行時は十分注意してください。移動時は作業機の折りたたみための箇所は折りたたみ走行してください。又スタンドがついている場合も必ず外してください。
7-9 路肩に草が茂っている所を走行するときは特に路肩の強度に気を付けてください。



- 7-10 坂道では、クラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。
7-11 坂道では、スピードを落とし、低速で走行してください。
7-12 坂道では、エンジンブレーキを使用し、急ブレーキをかけないでください。

8 圃場への出入り

- 8-1 圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げ、うねや段差に対して直角に進んでください。
8-2 圃場から出るときは、傾斜しているうねはバックで上るか、又は丈夫なアユミ板を使用してください。



- 8-3 うねや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。作業機を低くして重心を下げ、直角に進めてください。

9 作業をしているとき

- 9-1 いねむり運転、わき見運転をしないようにあらかじめ体調を整えてください。

安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

9-2 回転部分等、動く所には触れないでください。

9-3 作業中は、まわりに人を近寄らせないでください。特に子供には十分注意してください。補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわしてください。



9-4 運転者が運転位置をはなれて作業機を調整する場合、又、爪軸等への草やワラのからみ付きを取りのぞく場合等は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、かつ、PTO軸への動力の伝導が絶たれていることを確認した上で行ってください。



9-5 作業機の下にもぐったり、足をふみこんだりしないでください。



9-6 作業機のカバーは、土礫が飛散ないように調節してください。



9-7 ぬかるみにはまっても作業機は絶対に外さないで、他の車に引き上げてもらってください。牽引点は低くしてください。

10 作業中の点検

10-1 作業機の点検を行うときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、かつ、PTO軸への動力の伝導が絶たれているこ

とを確認した上で行ってください。又、油圧ロックも必ず行ってください。



10-2 点検のために外した安全カバーは、必ず元の通りに取付けてください。



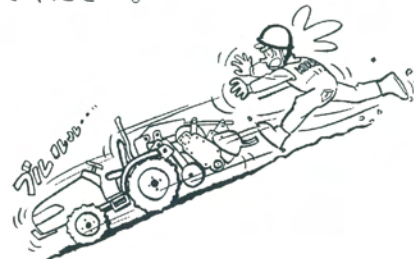
10-3 ラジエータ、マフラは高温になりますので、ヤケドに注意してください。

10-4 点検整備に必要な工具類は、適切な管理を行い、正しい使用をしてください。

11 トラクタを止めるとき

11-1 平らな場所に止めてから、作業機を降ろしてエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。

11-2 傾斜地に止める場合は、タイヤに必ず車止めをしてください。



12 その他

12-1 作業機指定のPTO軸回転速度を守ってください。

低速回転用の作業機を高速回転で使用すると作業機が異常作動し危険です。

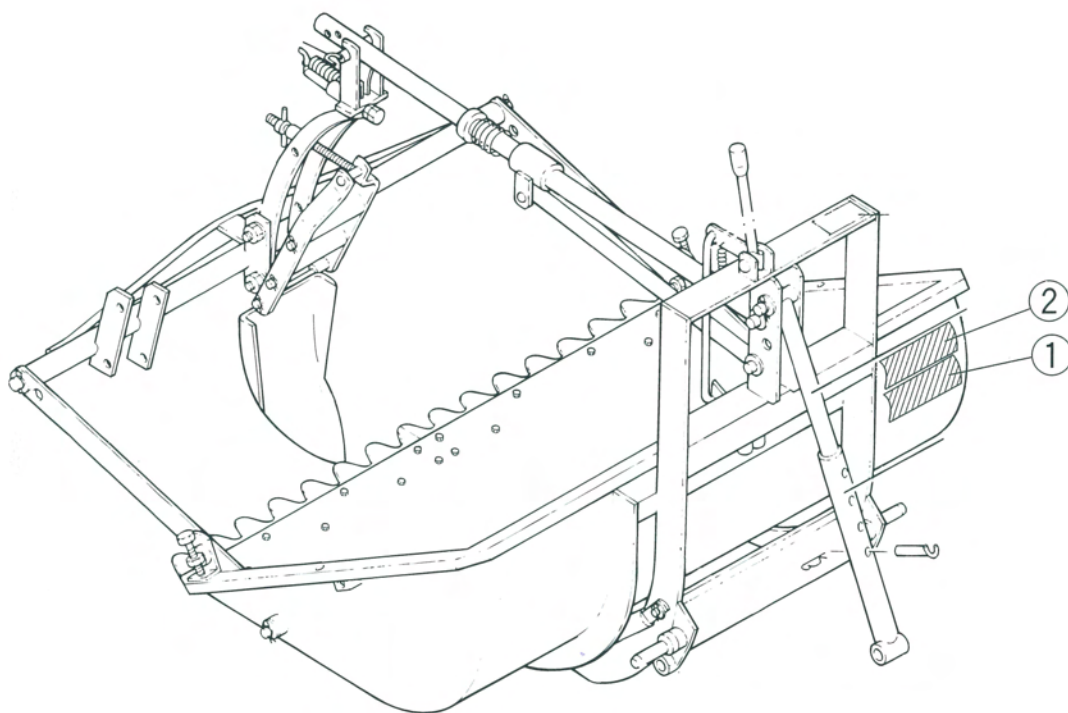
12-2 トラクタのエンジン始動時は、作業機が下がっていることを確認してください。

作業機が不意に下がることもあり危険です。

安全ラベルの取扱い

- ① いつも汚れや泥をとり警告がハッキリと見えるようにしてください。
- ② 安全ラベルが損傷したり破損した時は、新しいものと交換してください。
- ③ 安全ラベルを貼ってある部品を交換した時は、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に安全ラベルを貼ってください。

コバシリヤーバケットには、次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



①

コードNo.9992086

⚠ 警告	
	●転落事故を防ぐためには、発進や登坂時にトラクタの前輪が浮き上がらないように充分な前部ウエイトを取り付けてください。 ●作業機にアタッチメントを装着する時には、特にバランスを注意するとともに、アタッチメントの取扱説明書をよく読んで、適切な処置や調整を行ってください。
9992086	

②

コードNo.9992087

⚠ 注意	
	使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。 1. 作業機を着脱するときは、トラクターと作業機の間立たないでください。 2. エンジン始動時や作業中は、周囲の安全を確認し、人がいないか、特に子供には注意し、近づけないようにしてください。 3. 作業機の上に人を乗せないでください。 4. 点検整備時には、必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、油圧降下防止用ストップバルブを締めてください。また、絶対に作業機の下にはいつて作業をしないでください。 5. ジョイントのノックピンが確実にロックされていることを確認してください。
9992087	

サービスと保証について

1 保証書について

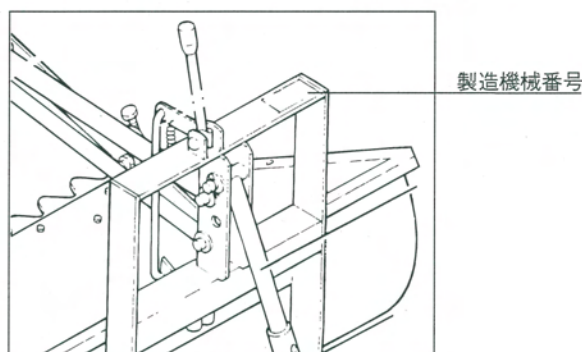
コバシリヤーバケットには保証書が添付してあります。保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。保証内容は保証書をご覧ください。お読みになった後は大切に保管してください。

2 アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置してもなお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げ頂いた販売店、農協、弊社営業所までご連絡ください。

その際

- 機械の型式名と製造機械番号
- ご使用状況（作業速度はいくらで、どんな作業をしていたときに）
- どのくらい使用されましたか（約〇〇アール・約〇〇時間使用后）
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後9年といたします。

従いまして、その後のご注文に対しては、在庫限りの供給とさせていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

各部の名称

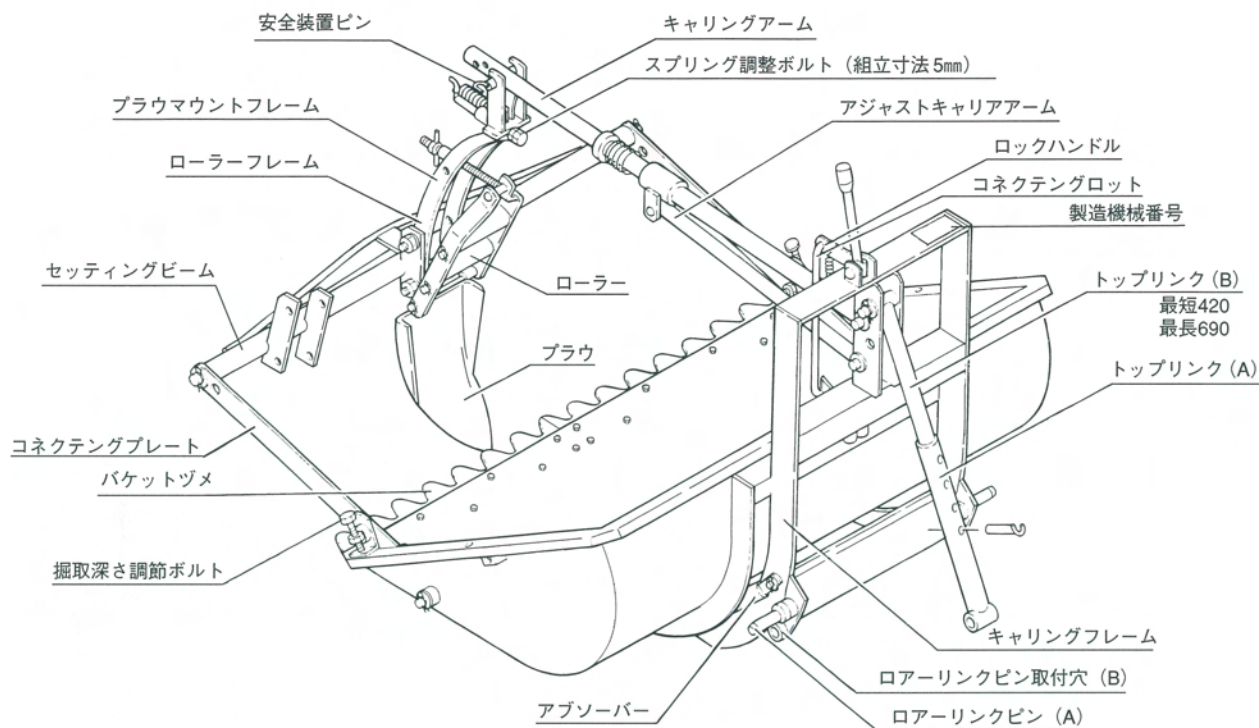


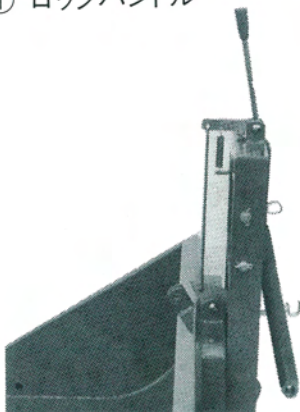
図 KMB 120L

組立要領

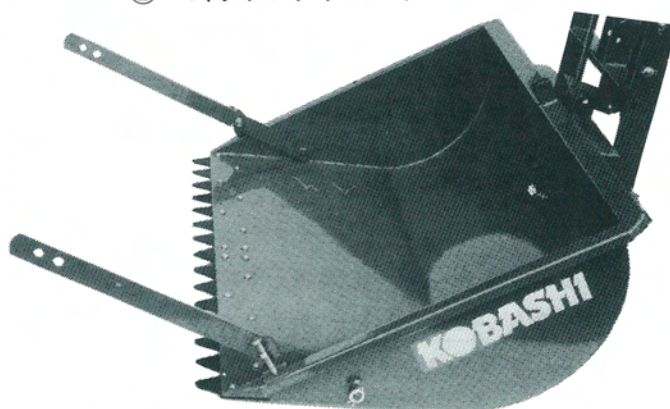
リヤーバケットは梱包の都合で①～⑦を取り外して出荷しております。
開梱後、組付けてください。

《組立順序》 次の写真を参考に組立ててください。

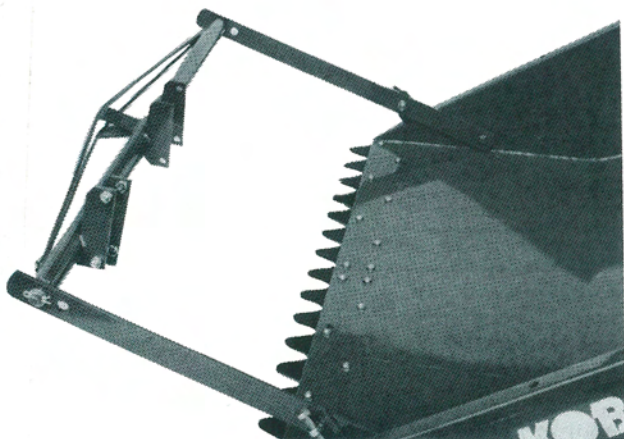
① ロックハンドル



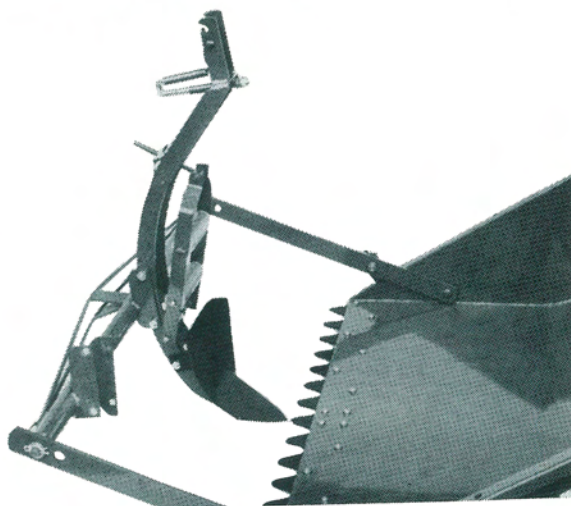
② コネクティングプレート



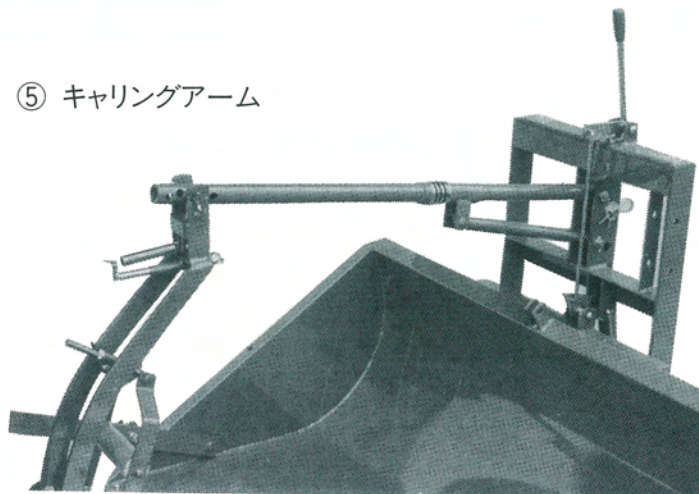
③ セッティングビーム



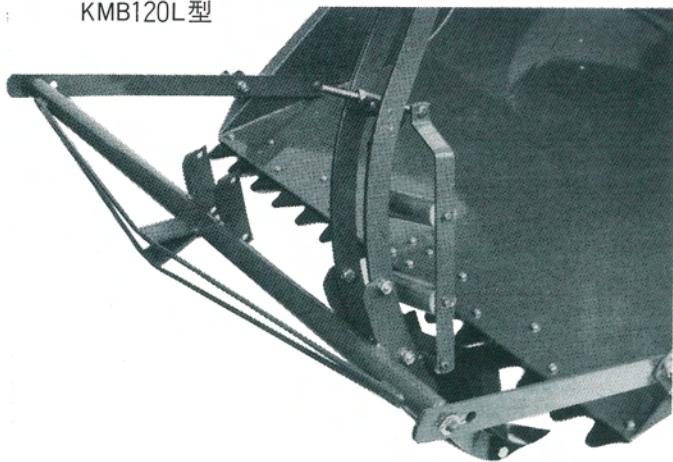
④ プラウマウントフレーム



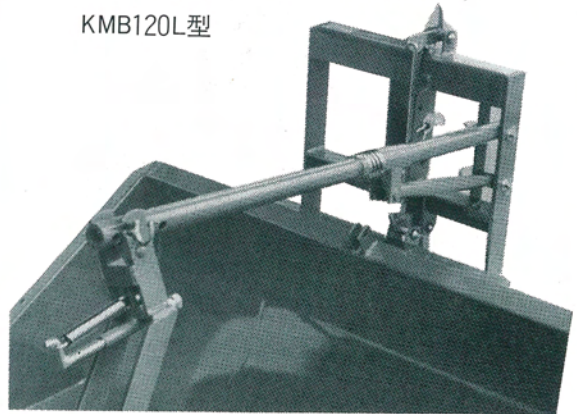
⑤ キャリングアーム



⑥プラウマウントフレーム（あぜ際掘取り）
KMB120L型



⑦キャリングアーム（あぜ際掘取り）
KMB120L型



トラクタへの装着

⚠ 注意 装着するときは、トラクタとリヤーバケットの間に立たないでください。

- 適応トラクタ出力は11～19.1KW（15～26馬力）です。
- 装着方法は、3点リンク直装式です。
- ローアリンクピンの取付穴は、トラクタに合わせて(A)(B)の位置を選んで取付けてください。
- 付属のトップリンクを取付け、バケットの低部がほぼ水平になるようにトップリンクで調整してください。

(図-1)

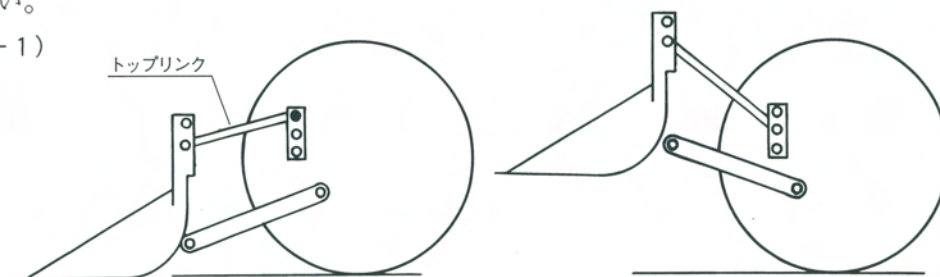


図-1の場合 トップリンクの取付穴は、バケット側は下方、トラクタ側は上方に、ローアリンクとトップリンクが平行に近い程、バケットは水平に上がります。

(図-2)



図-2の場合 トップリンクの取付穴は、バケット側は上方、トラクタ側は下方を使用する程、バケットを上げた時、バケットが前方に傾斜し高く上がります。

取扱上の注意

バケットを上げたとき、トップリンクがトラクタの座席に接触する場合がありますから注意してください。その場合は、トップリンクの取付穴位置を変えてください。

作業方法

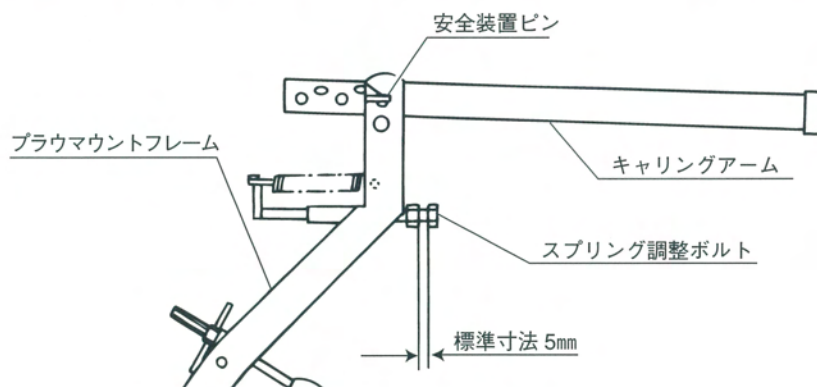
1 掘取り作業



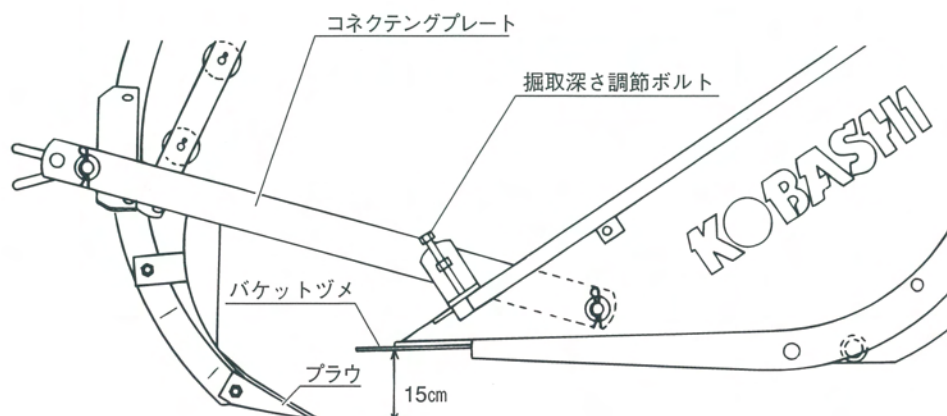
注意

作業中は周囲の安全を確認し、人がいないか特に子供には注意し、近づけないようにしてください。

1. 未耕地の圃場で使用する場合は、バケットにプラウを取付けて車速を5~8km/hで前進し、バケット（プラウ）をゆっくり降して掘取り作業を行なってください。
2. 掘取った土の積載量が多い場合はトラクタが浮上ることがありますから、フロントウエイトを取付けてください。運搬する距離が近い場合は、バックで走行した方がトラクタの前方が浮上することなく安全に走行できます。
3. ダンプする場合は、レバーを引くとダンプできますが、圃場に均平に落としたいときは、バック、又は前進しながらレバーを引きます。
4. プラウの保護のため安全装置があり、異常な力が加わった時自動的にプラウのピンが外れるようになっています。度々外れる場合は、プラウの掘取り深さが深過ぎるので調整ボルトで浅くしてください。それでも外れる場合は、安全装置のスプリング調整ボルトを少し締め付けます。



5. プラウの掘取深さは、15cm位になるように調整ボルトの内側のナットをゆるめてから調整ボルトで調節してください。必ず、左、右同じ高さになるように調節してください。調整後は必ずナットを締付けてください。



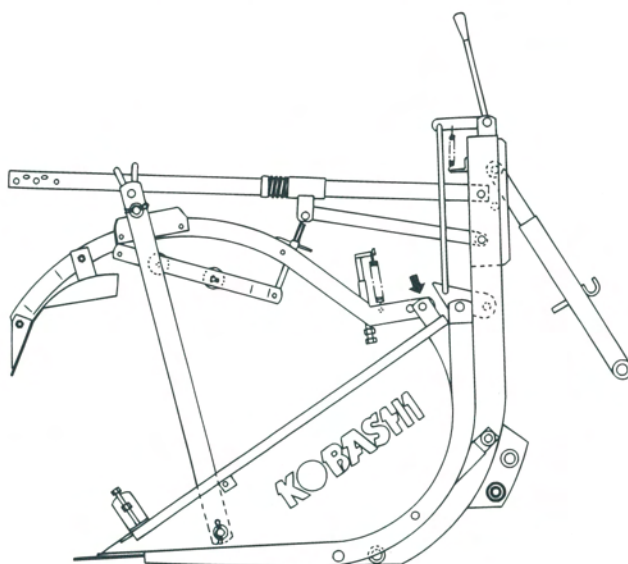
2 バック作業（既耕うん地で整地及び除雪の場合）



注意

作業中は周囲の安全を確認し、人がいないか特に子供には注意し、近づけないようにしてください。

1. プラウを取外すか、図のようにプラウをバケット（矢印）に固定し、バケットの刃先が少し下向きになるようにトップリンクで調節して、バック作業をしてください。
2. トラクタがスリップする場合は、油圧レバーでバケットを少し上下させながらバックしてください。



主要諸元

型 式	仕様区分	バケット幅 (cm)	適応トラクタ (PS)	全 長 (mm)	全 幅 (mm)	全 高 (mm)	重 量 (kg)	バケット容量 (ℓ)	装着装置の種類
KMB 120L	スキ付	120	15～26	1390	1280	1155	105	200	3P 0.1形直装
KMB 120S	スキなし	120	15～26	965	1280	1155	80		3P 0.1形直装
KMB 150L	スキ付	150	20～26	1390	1590	1155	120	240	3P 0.1形直装
KMB 150S	スキなし	150	20～26	965	1590	1155	90		3P 0.1形直装

[illegible]

KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

☎ (086) 298-3112

インターネットでも弊社の情報をご覧いただけます。

<http://www.kobashikogyo.com>

■北海道営業所	〒071-1248	北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番	☎ (0166) 49-0070
■東北営業所	〒024-0004	岩手県北上市村崎野13地割35-1	☎ (0197) 71-1160
■関東営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1	☎ (028) 687-1600
■新潟営業所	〒942-0041	新潟県上越市安江477-1	☎ (025) 546-7747
■岡山営業所	〒701-0165	岡山市北区大内田727	☎ (086) 250-1833
■九州営業所	〒861-2236	熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F	☎ (096) 286-0202